

(平成26年度)

「自然首都・只見」学術調査研究助成金事業募集要項

1 趣旨

只見町は豪雪による雪食地形とブナ林を代表とする落葉広葉樹林により構成されるモザイク植生に特徴付けられる自然環境が広大で原始的な状態で存在するとともに、そうした自然環境や天然資源を持続可能な形で利活用してきた独自の地域文化が存在します。平成18年に策定した第六次只見町振興計画では、そうした只見町の自然環境、歴史、文化、暮らし、産業などの地域特性を活かした町づくりを推進することとしています。また、平成19年には、只見町の貴重で優れた自然環境を保護・保全し、次世代に引き継いでいく責務を「自然首都・只見」宣言として宣言しています。

その一方で、当町は、近年の日本の山間地域の例に漏れず過疎・高齢化と若者の流出が進み、将来的な産業の衰退、地域社会の存続が危惧されています。さらに、平成23年7月新潟・福島豪雨によりかつてない甚大な被害を受け、町を取り巻く現状はますます厳しいものとなっています。

そこで、町の復興のため、自然と人が共生を実現する地域であるユネスコ MAB（人間と生物圏）計画の Biosphere reserve（国内呼称 ユネスコエコパーク）を枠組みとして、豪雪に特徴付けられる豊かな自然環境を保護・保全し、それらを拠り所にした伝統的な暮らしや文化を守り、活かすまちづくりを推進し、第六次振興計画と「自然首都・只見」ブランドを具体化する取り組みを開始しています。

ユネスコエコパークは人と自然との共生を実現するために、①自然環境の保護・保全、②調査研究・人材育成、③地域資源を持続可能な形で利活用した地域社会経済の発展（地域振興）の3つの目標を柱としています。このうちの調査研究・人材育成に位置づけ、「自然首都・只見」ブランド確立のため、只見町の自然環境、歴史、民俗、産業に関して科学的評価を行うとともに、住民への学習機会の充実、各研究機関との交流の推進、研究成果の活用を図ることを目的として、「自然首都・只見」学術調査研究助成金事業を実施いたします。

2 対象分野

助成する調査研究の対象分野は、原則、只見町内における以下のものとします。

- (1) 生態系、生物多様性の保全、再生及び活用に関する基礎研究から応用研究
- (2) 歴史、民俗の保存、継承に関する研究
- (3) 前号に関するシンポジウム、研究会

【キーワード】：生態系、生物多様性、豪雪地帯、雪食地形、モザイク植生、ブナ林、溪畔林、河畔林、里地里山、河川、土壌、地質、野生動植物、魚類、生態系サービス、持続可能な地域社会、農業、林業、内水面漁業、天然資源、伝統芸能、民話、民具、古民家、年中行事、狩猟、山菜、入会慣行、自然エネルギー

3 対象研究者・研究期間

研究者または研究グループ等で、上記の分野において現に研究活動に従事するか、または研究着手の段階にあり、研究の成果が2～3年以内に期待できるものとします。

4 助成金事業の内容

(1) 助成金総額280万円

助成金は1件50万円が上限です。

(2) 助成金の使途

当該年度の研究目的を達成するために必要なものに使用できます。

(旅費、消耗品、印刷製本、図書、会場費、講師謝礼)

(3) 調査研究成果の発表

助成研究者は、当該年度中に、研究成果を中心に只見町内で、一般町民向けに報告をするものとします(例年は1月に実施)。

(4) 助成期間

平成27年3月31日まで

5 選考

選考委員会において厳正に選考の上、平成26年5月下旬までに決定し通知します。

6 応募要領

下記書類を事務局へ郵送あるいは持参してください。

応募締切：平成26年5月9日(金)

- | | |
|--------------------------------------|-----|
| (1) 「自然首都・只見」学術調査研究助成金交付申請書(様式第1号) | 1通 |
| (2) 調査研究計画書(様式第2-1号、様式第2-2号、様式第2-3号) | 各1通 |
| (3) 研究業績一覧(様式第3号) | 1通 |
| (4) 調査研究経費の支出計画(様式第4号) | 1通 |

7 申し込み・問い合わせ先

只見町役場 総合政策課 地域振興係内 「自然首都・只見」学術調査研究助成金事業事務局

〒968-0498 福島県南会津郡只見町大字只見字雨堤1039番地

TEL 0241-82-5220 FAX 0241-82-2117

HP <http://www.tadami.gr.jp/>

e-mail shinkou@town.tadami.lg.jp

(様式第1号)

「自然首都・只見」学術調査研究助成金交付申請書

平成 年 月 日

只見町長 様

申請者 (代表者)

(住所)

(所属)

(電話)

(氏名)

印

「自然首都・只見」学術調査研究助成金の交付を必要書類を添えて申し込みますので、
お願いいたします。

(様式第2-1号)

調査研究計画書 (全3枚)

助成金の交付を受けようとする助成研究者略歴

1	氏名		年齢	歳
	所属			
	連絡先	〒		
		TEL () -		
		FAX () -		
	現在	大学生 (回生)、大学院生 (M 、 D)、その他 ()		
専門分野				

2	氏名		年齢	歳
	所属			
	連絡先	〒		
		TEL () -		
		FAX () -		
	現在	大学生 (回生)、大学院生 (M 、 D)、その他 ()		
専門分野				

3	氏名		年齢	歳
	所属			
	連絡先	〒		
		TEL () -		
		FAX () -		
	現在	大学生 (回生)、大学院生 (M 、 D)、その他 ()		
専門分野				

※欄が不足する場合は、記入欄を増やす等、適宜様式を変更して下さい。

代表者氏名 _____ 印

指導教官 _____ 印

※学生の場合

(様式第2-2号)

1 研究テーマ

2 研究目的（研究の背景とともに具体的に記述すること）

3 調査・研究方法
（調査地、方法、日程等）

(様式第2-3号)

4 調査の年間スケジュール

5 只見町の生物多様性の保全・再生・活用あるいは歴史、民俗の保存・継承と本研究、シンポジウム・研究会の関係について

(様式第3号)

研究業績一覧

氏名 _____

論文・著書（本研究に関するもの5編以内）

講演・学会発表等（本研究に関するもの5回以内）

(様式第4号)

調査研究経費の支出計画 氏名 _____

研究助成金 総額

万円 (上限50万円)

(単位:万円)

支出科目	予定額	内訳
旅費 ※1	()	
消耗品費 ※2	()	
印刷製本費	()	
図書購入費	()	
講師謝礼 ※3	()	
会場費 ※3	()	
その他	()	
総額	()	

※1 同行者を含む。

※2 消耗品は単価が1万円未満の物品をいいます。

※3 シンポジウム、研究会に限る。

※4 研究費の総額が助成金額を超える場合は、各科目の()の中に総額を書き込んでください。